

MPE720 Ver.7.86 バージョンアップ情報

1. 機能追加・改善項目

1.1 Ver.7.86 バージョンアップ情報

MPE720 Ver.7.85→ Ver.7.86 の機能追加・改善項目は次の通りです。

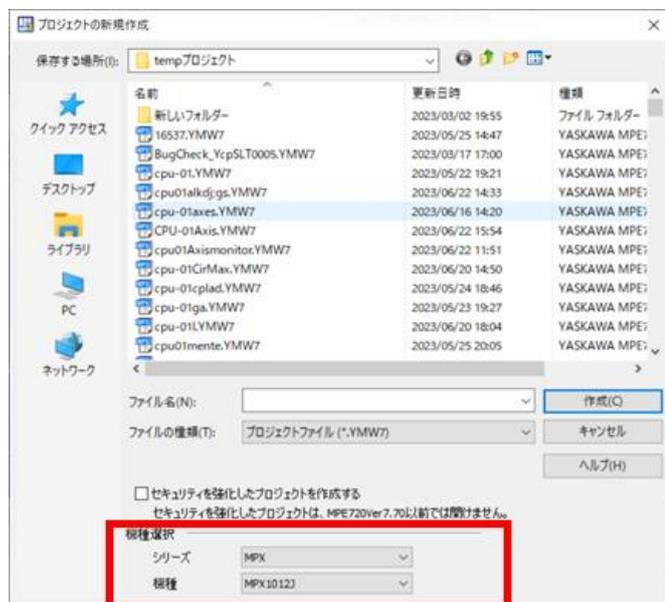
No.	機能項目	分類
1	MPX シリーズコントローラ MPX1012J を追加しました。	新規
2	メニューバー構成を変更しました。	新規
3	マルチスキャン機能に対応しました。	新規
4	MPX コントローラの EtherNet/IP モジュールについて、IO オフセット設定を可能にしました。	新規
5	CPU-203 コントローラにおいて、FTP 設定ができない不具合を修正しました。	改善
6	特定機種において、コメントリストで G レジスタの「全レジスタ表示」ができない不具合を修正しました。	改善
7	英語、中国語(簡体字)において、表データの新規作成時のエラーメッセージが文字化けする不具合を修正しました。	改善
8	表データのインポートにおいて、文字列データが文字化けする不具合を修正しました。	改善
9	Σ -XS において、ポジションモニタの値が不正になる不具合を修正しました。	改善
10	YRM-X コントローラにおいて、プロジェクト置換の置換対象の選択が最大 32 軸となっている不具合を修正しました。	改善

2. 修正内容詳細

No. 1 MPX シリーズコントローラ MPX1012J を追加しました。

MPX シリーズコントローラとして MPX1012J を追加しました。

1) シリーズ名”MPX”、機種”MPX1012J”を指定して、プロジェクトファイルを作成することが可能です。



2) MPX1012J に接続してエンジニアリングすることが可能です。

【対応バージョン】

○コントローラ

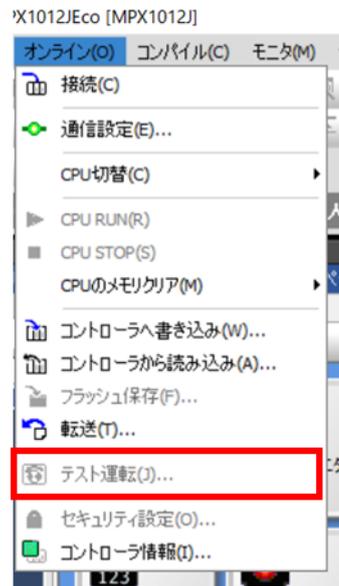
コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MPX	2.00

No. 2 メニューバー構成を変更しました。

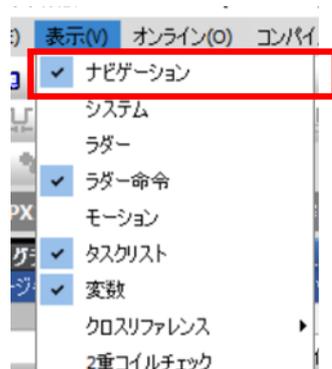
1)メニューバーの項目に「モニタ」「ツール」を追加しました。

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) オンライン(O) コンパイル(C) モニタ(M) デバッグ(D) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

2)メニューバー項目の「オンライン」に「テスト運転」を追加しました。



3)メニューバー項目の「表示」に「ナビゲーション」を追加しました。



No. 3 マルチスキャン機能に対応しました。

マルチスキャン対応機種について、以下機能が使用可能です。

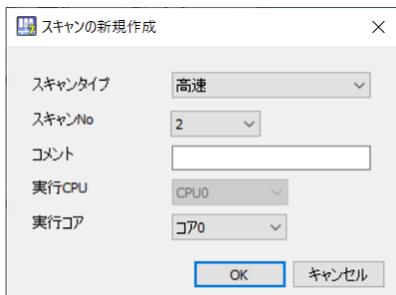
【マルチスキャン対応機種】

シリーズ	コントローラ
MPX	MPX1012J

1)ナビゲーションウィンドウを追加しました。



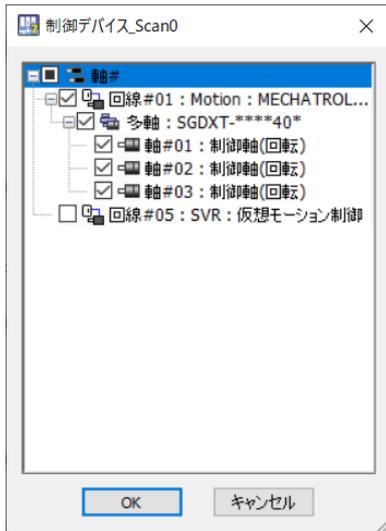
2)スキャンの新規作成・削除が可能です。



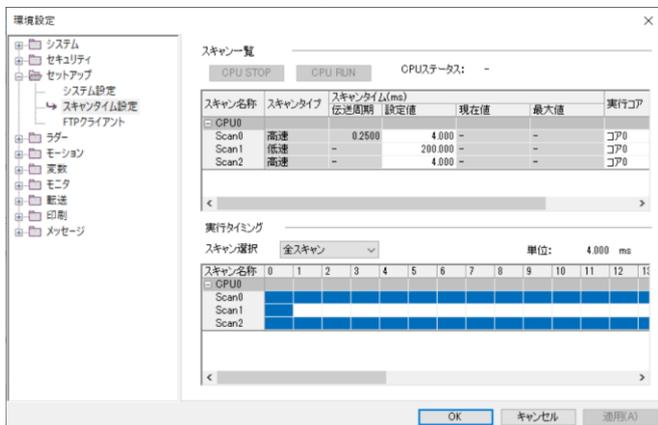
3)スキャンのレジスタ割付け設定が可能です。



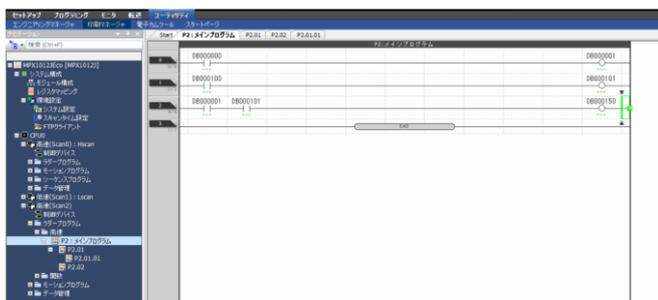
4) スキャンの制御デバイス設定が可能です。



5) スキャンタイム設定画面をマルチスキャン機能に対応しました。



6) 新規に追加したスキャンではラダー図面として P 図面を作成可能です。



No. 4 MPXコントローラの内臓機能モジュール EtherNet/IP について、アダプタの IO オフセット設定を可能にしました。

コントローラ内臓機能モジュール EtherNet/IP において、EtherNet/IP 通信パケットデータ中のバイト単位のデータをワード単位の調整するための変換規則を設定する機能を追加しました。

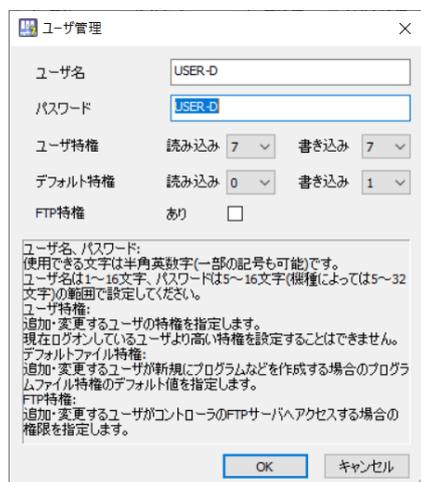


【対応コントローラ】

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MPX::MPX1012J	2.00

No. 5 CPU-203 プロジェクトにおいて、ユーザ管理画面で FTP 設定ができない不具合を修正しました。

1) 対象コントローラのユーザ管理画面において、FTP 特権を設定可能にしました。



2)対象コントローラにおいて、FTP 特権が設定されたユーザが5 ユーザまでになるようにチェック処理を追加しました。

3)対象コントローラにおいて、ユーザ名の開始文字に数字、「.」、「-」が使用された場合、登録できていた不具合を修正しました。

【対応コントローラ】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
CPU-203	1.50 以降
CPU-203F	1.50 以降
NSC-833	1.50 以降
NSC-834	1.62 以降

No. 6 YRM-X コントローラにおいて、コメントリストが正常に表示されない不具合を改善しました。

YRM-Xコントローラについて、コメントリストでGレジスタの「全レジスタ表示」を選択すると「メモリ不足です」のエラーメッセージが表示される不具合がありましたので、これを修正しました。

【対応コントローラ】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
YRM-X	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 7 英語、中国語環境における表データ作成時のエラーメッセージを改善しました。

英語、中国語(簡体字)環境において、表データの新規作成時にデータを入力せず保存した場合のエラーメッセージが文字化けする不具合がありましたので、これを修正しました。

No. 8 表データのインポートにおいて、文字列データが文字化けする不具合を改善しました。

表データのインポートにおいて、文字列データが文字化けする不具合がありましたので、これを修正しました。

No. 9 Σ-XS を割付けると、ポジションモニタの値が不正となる不具合を改善しました。

Σ-XS を割付けると、ポジションモニタの値が「-」と表示される不具合がありましたので、これを修正しました。

No. 10 YRM-X コントローラにおいて、プロジェクト内置換の最大軸数が 32 軸となっている不具合を改善しました。

YRM-X コントローラのプロジェクトにおいて、プロジェクト内置換実行時に、種別「AXIS」を選択した際の軸番号の選択肢が最大 32 軸までになっている不具合がありましたので、最大 64 軸まで選択できるように修正しました。

プロジェクト内置換

レジスタ アドレス

置換元				置換先
種別	データ型/ 回路番号	アドレス/ 軸番号	置換 方向	種別
1	AXIS	1	=>	AXIS
2		全軸(32軸)	=>	
3		全軸(16軸)	=>	
4		1	=>	
5		2	=>	
6		3	=>	
7		4	=>	
8		5	=>	
9		6	=>	
10		7	=>	
11		8	=>	
12		9	=>	
13		10	=>	
14		11	=>	

付録 A: 【並列回路のコンパイルについて】

MPE720 Ver7.23以前のMPE720 Ver7のラダープログラムにおいて、並列回路を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

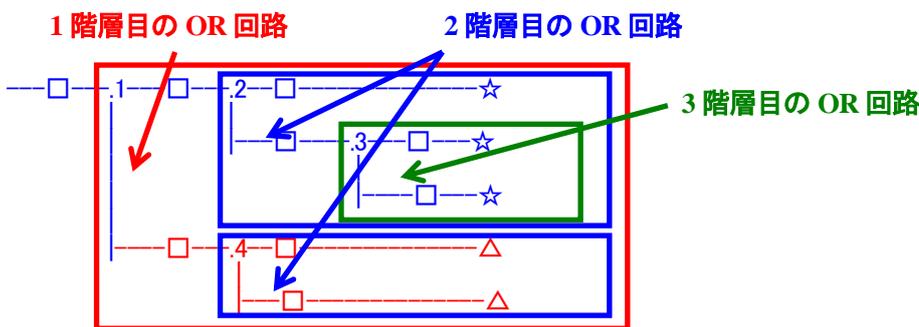
<現象>

下記のパターンを含む回路を作成した場合に、1階層目のOR回路の下側の回路が、本来、1階層目のOR回路の前にある条件命令を受けて、動作しなければならないところをその条件を受けずに動作してしまう現象がありました。

<対策>

現象が発生した場合は、MPE720 Ver7.24以降のMPE720 Ver7で、該当のラダープログラムについて、再コンパイルを実施してください。

または、「コンパイル」メニューの「プログラムの全コンパイル」を再度、実施してください。



- 1 階層目の OR 回路: ラングの母線から分岐された OR 回路
- 2 階層目の OR 回路: 1 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路
- 3 階層目の OR 回路: 2 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路

□(条件命令): A 接点、B 接点、比較(==、!=、>、<)命令など

※□(条件命令)には、パワー線(——)も含む

☆(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW)命令など

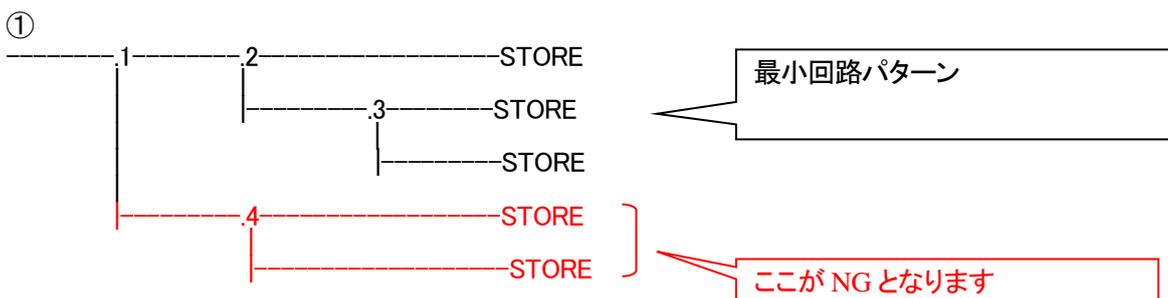
※ただし、☆が全てコイル命令の場合は、今回の現象は発生しません。

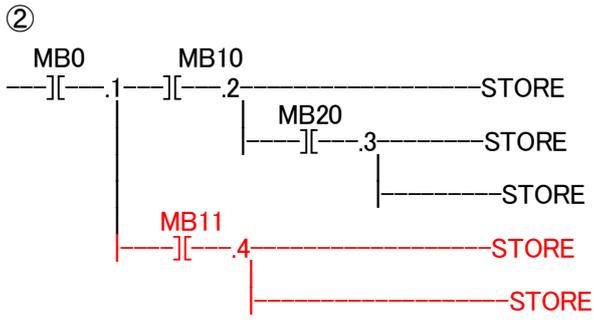
△(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW)命令など

【現象発生パターン】

記号	命令
┌┐	A 接点
STORE	STORE 命令
()	コイル

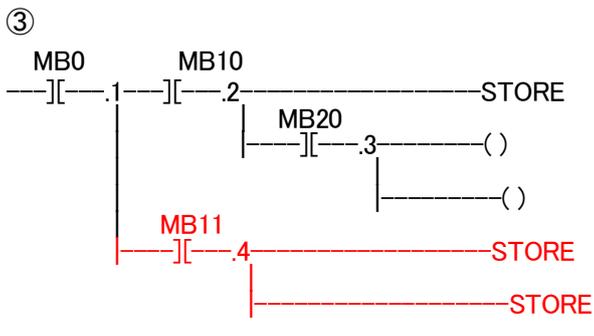
【NG パターン】





最小回路パターンに条件命令(A接点など)があってもNG

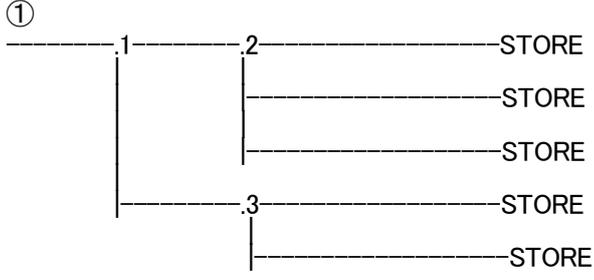
ここがNGとなります



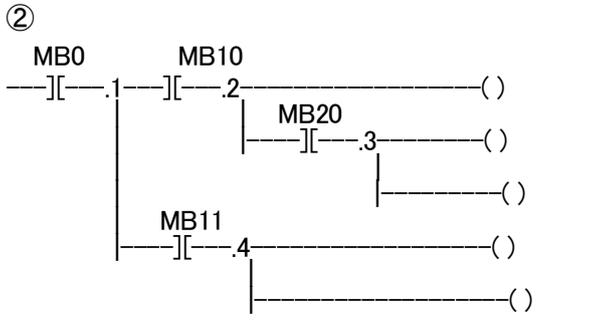
ここに1つでもブロック命令(STORE命令など)があるとNG

ここがNGとなります

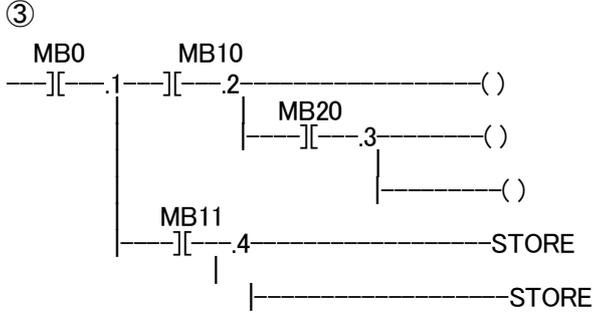
【OKパターン】



2階層のOR回路なのでOK



すべてコイルなのでOK



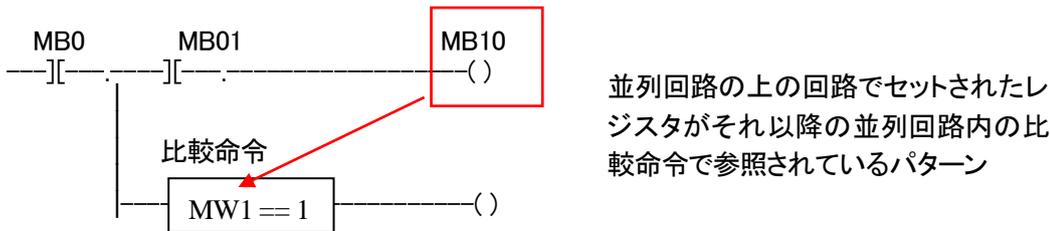
すべてコイルなのでOK

付録B: 【並列回路内に比較命令がある場合のコンパイルについて】

MPE720 Ver7.63以前のMPE720 Ver7のラダープログラムにおいて、並列回路を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

<現象>

下記のパターンを含む回路を作成した場合に、OR 回路の上側の回路でセットされたレジスタの値は、本来、それ以降の OR 回路の中にある比較命令に同スキャン内に反映されなければならないところを、次のスキャンで反映してしまう現象がありました。



<対策>

現象が発生した場合は、MPE720 Ver7.64 以降の MPE720 Ver7 で、該当のラダープログラムについて、再コンパイルを実施してください。またこのパターンの回路を含むプログラムについては Ver7.64 以降では内部のステップ数が変わりますので、以前のバージョンで作成したプロジェクトでクロスリファレンスを実施した時に、意図しない箇所に飛ぶ可能性があります。その場合も該当プログラムの再コンパイルを実施してください。または、「コンパイル」メニューの「プログラムの全コンパイル」を再度、実施してください。

付録C: 【高DPIについて】

MPE720 Ver.7を4Kディスプレイなどの高DPI対応のパソコンで起動した場合、解像度やスケールの設定などによっては画面の一部が表示できないことがありました。そのため、MPE720 Ver.7.67よりMPE720のプロパティの高DPI設定を無効化するようにしました。これにより画面が見切れるなどの現象は回避されます。もし事情により高DPIの設定で使用する必要がある場合には、お手数ですがMPE720 Ver.7のプロパティ画面より高DPI設定の変更をお願いいたします。